【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-532538(P2004-532538A)
【公表日】平成16年10月21日(2004.10.21)
【年通号数】公開・登録公報2004-041
【出願番号】特願2002-560054(P2002-560054)
【国際特許分類第７版】
　ＨＯ４Ｌ　12/56
【ＦＩ】
　ＨＯ４Ｌ　12/56　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月25日(2005.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ソースのための固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ得ることと、
　該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を持つ解決のためのソースの場所アドレスを得ることと、
　該場所アドレスへアクセス可能であることの有効性を確かめることと、
から成る、コンピュータを用いて場所アドレスの有効性を確かめる方法。
【請求項２】
　一つのトリガ・イベントが、有効性の確認をもたらすことを特徴とする請求項第１項に記載の方法。
【請求項３】
　関連したソースの場所アドレスを持つ固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を解決するための一つのデータベースでもって該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の有効性を確認するために、該ソースの該場所アドレスを解決することから更に成る方法で、該場所アドレスへアクセス可能であることの有効性の確認が、該得られた場所アドレスと、公共データベースによって解決された場所アドレスを比較することを含むことを特徴とする、
請求項第１項に記載の該方法。
【請求項４】
　場所アドレスにおいて該ソースの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第１項に記載の方法。
【請求項５】
　ソースの有効性の確認が、該ソースに組み込まれたタギング・コードを一つ認識することに基づくことを特徴とする請求項第４項に記載の方法。
【請求項６】
　場所アドレスにおいて該ソースへアクセス可能であることの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第１項に記載の方法。
【請求項７】
　有効性についてステータス通知を提供すること、
から更に成る、請求項第１項に記載の方法。

【請求項８】
該ステータス通知が、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の有効性についてであることを特徴とする請求項第７項に記載の方法。
【請求項９】
該ステータス通知が、該場所アドレスの有効性についてであることを特徴とする請求項第７項に記載の方法。
【請求項１０】
該ステータス通知が、該ソースの有効性についてであることを特徴とする請求項第７項に記載の方法。
【請求項１１】
該ステータス通知が、エラー管理のための委任エージェントへ提供されることを特徴とする請求項第７項に記載の方法。
【請求項１２】
該ステータス通知が、ポリシーに支配されることを特徴とする請求項第７項に記載の方法。
【請求項１３】
有効性を確認することが、該場所アドレスをピングすることによって達成されることを特徴とする請求項第１項に記載の方法。
【請求項１４】
ピングすることが、安全化されたソースへのアクセスを可能にするセキュリティ許可を含むことを特徴とする請求項第１３項に記載の方法。
【請求項１５】
タギング・コードを決定し、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立することと、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けし、該ソースへと一つの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子によって解決されることと、
から成る、コンピュータを用いてソースをタギングする方法。
【請求項１６】
該ソースに組み込まれた該タギング・コードを認識することによって該ソースの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第１５項に記載の方法。
【請求項１７】
一つのトリガ・イベントが、有効性の確認をもたらすことを特徴とする請求項第１６項に記載の方法。
【請求項１８】
該場所アドレスへアクセス可能であることの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第１５項に記載の方法。
【請求項１９】
ソースのタグ付けが、一つの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録中に起こることを特徴とする請求項第１５項に記載の方法。
【請求項２０】
ソースのタグ付けが、該ソースの作成中に起こることを特徴とする請求項第１５項に記載の方法。
【請求項２１】
タギング・コードを決定し、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立することと、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けすることと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成することと、
該ソースのための場所のアドレスを一つ受信することと、

該ソースの場所と関連した該アドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行し、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有であることと、
から成る、コンピュータを用いて登録を実行する方法。
【請求項２２】
該場所アドレスへアクセス可能であることの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第２１項に記載の方法。
【請求項２３】
一つのトリガ・イベントが、有効性の確認をもたらすことを特徴とする請求項第２２項に記載の方法。
【請求項２４】
該ソースに組み込まれた該タギング・コードを認識することによって該ソースの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第２１項に記載の方法。
【請求項２５】
タギング・コードを決定し、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立することと、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けすることと、
該ソースのための記憶ファシリティ内にスペースを割り当てることと、
通信ネットワーク上で該割り当てられたスペースの場所をアドレス可能でアクセス可能にすることと、
該ソースを該割り当てられたスペースへ保存することと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成することと、
該ソースが保存されている該場所と関連した一つのアドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行し、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が該データベースにて固有であることと、
から成る、コンピュータを用いて登録を実行する方法。
【請求項２６】
該タギング・コードが、セキュリティ許可メカニズムであることを特徴とする請求項第２５項に記載の方法。
【請求項２７】
該ソースに組み込まれた該タギング・コードを認識することによって該ソースの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第２５項に記載の方法。
【請求項２８】
一つのトリガ・イベントが、有効性の確認をもたらすことを特徴とする請求項第２７項に記載の方法。
【請求項２９】
該場所アドレスへアクセス可能であることの有効性を確認すること、
から更に成る、請求項第２５項に記載の方法。
【請求項３０】
ソースのための記憶ファシリティにてスペースを割り当てることと、
通信ネットワーク上で該割り当てられたスペースの一つの場所へアドレス可能でアクセス可能にすることと、
該ソースを該割り当てられたスペースへ保存することと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成することと、

該ソースが保存されている該場所と関連した一つのアドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行し、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有であることと、
該ユニバーサル・ネーム識別子のためのメタデータを受信し、該メタデータが該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子について説明的なデータを提供することと、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と該メタデータがお互いにより識別可能になるように、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を該メタデータに関連付けることと、
多重段階登録コミットメントの内一つの段階において、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録を実行する前に、メタデータをメタデータ・データベースに登録することと、
該メタデータが該メタデータ・データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成することと、
多重段階登録コミットメントの内もう一つの段階において該データベースに該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を登録することと、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が該データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成することと、
多重段階登録コミットメントの内更にもう一つの段階において該ソースの有効性を確認することと、
該有効性の確認が失敗した場合にエラーを一つ生成することと、
該多重段階登録コミットメントの何れかの段階でエラーが生成された場合、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録に失敗することと、
から成る、コンピュータを用いてソースにアクセスする方法。
【請求項３１】
該多重段階登録コミットが、メタデータを登録することと、固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を登録することと、該ソースの有効性を確認することから成る最低３つの段階コミットメントであることを特徴とする請求項第３０項に記載の方法。
【請求項３２】
ソースのための固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ得る手段と、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を持つ解決のためのソースの場所アドレスを得る手段と、
該場所アドレスへアクセス可能であることの有効性を確かめる手段と、
から成る、コンピュータを用いて場所アドレスの有効性を確かめるためのシステム。
【請求項３３】
タギング・コードを決定する手段で、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立する、該タギング・コードを決定する手段と、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けする手段と、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成する手段と、
該ソースのための場所のアドレスを一つ受信する手段と、
、該ソースの場所と関連した該アドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行する手段で、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有である、該登録を実行する手段と、
から成る、コンピュータを用いて登録を実行するためのシステム。
【請求項３４】
ソースのための記憶機能にてスペースを割り当てる手段と、
通信ネットワーク上で該割り当てられたスペースの一つの場所へアドレス可能でアクセ

ス可能にする手段と、
該ソースを該割り当てられたスペースへ保存する手段と、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成する手段と、
該ソースが保存されている該場所と関連した一つのアドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行する手段で、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有である、該登録を実行する手段と、
該ユニバーサル・ネーム識別子のためのメタデータを受信する手段で、該メタデータが該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子について説明的なデータを提供する、該受信手段と、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と該メタデータがお互いにより識別可能になるように、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を該メタデータに関連付ける手段と、
多重段階登録コミットメントの内一つの段階において、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録を実行する前に、メタデータをメタデータ・データベースに登録する手段と、
該メタデータが該メタデータ・データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成する手段と、
多重段階登録コミットメントの内もう一つの段階において該データベースに該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を登録する手段と、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が該データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成する手段と、
多重段階登録コミットメントの内更にもう一つの段階において該ソースの有効性を確認する手段と、
該有効性の確認が失敗した場合にエラーを一つ生成する手段と、
該多重段階登録コミットメントの何れかの段階でエラーが生成された場合、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録に失敗する手段と、
から成る、コンピュータを用いてソースにアクセスするためのシステム。
【請求項３５】
プロセッサによって読み取り可能な媒体上に保存されたプログラムで、登録を実行する該プログラムが、
タギング・コードを決定するモジュールで、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立する、該タギング・コードを決定するモジュールと、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けするモジュールと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成するモジュールと、
該ソースのための場所のアドレスを一つ受信するモジュールと、
、該ソースの場所と関連した該アドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行するモジュールで、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有である、該登録を実行するモジュールと、
から成る、該プロセッサによって読み取り可能な媒体上に保存されたプログラム。
【請求項３６】
プロセッサによって読み取り可能な媒体上に保存されたプログラムで、登録を実行する該プログラムが、
タギング・コードを決定するモジュールで、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立する、該タギング・コードを決定するモジュールと、

該タギング・コードでソースを一つタグ付けするモジュールと、
該ソースのための記憶機能内にスペースを割り当てるモジュールと、
通信ネットワーク上で該割り当てられたスペースの場所をアドレス可能でアクセス可能にするモジュールと、
該ソースを該割り当てられたスペースへ保存するモジュールと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成するモジュールと、
該ソースが保存されている該場所と関連した一つのアドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行するモジュールで、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が該データベースにて固有である、該登録を実行するモジュールと、
から成る、該プロセッサによって読み取り可能な媒体上に保存されたプログラム。
【請求項３７】
プロセッサによって読み取り可能な媒体上に保存されたプログラムで、ソースへアクセスする該プログラムが、
ソースのための記憶機能にてスペースを割り当てるモジュールと、
通信ネットワーク上で該割り当てられたスペースの一つの場所へアドレス可能でアクセス可能にするモジュールと、
該ソースを該割り当てられたスペースへ保存するモジュールと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成するモジュールと、
該ソースが保存されている該場所と関連した一つのアドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行するモジュールで、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有である、該登録を実行するモジュールと、
該ユニバーサル・ネーム識別子のためのメタデータを受信するモジュールで、該メタデータが該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子について説明的なデータを提供する、該受信するモジュールと、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と該メタデータがお互いにより識別可能になるように、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を該メタデータに関連付けるモジュールと、
多重段階登録コミットメントの内一つの段階において、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録を実行する前に、メタデータをメタデータ・データベースに登録するモジュールと、
該メタデータが該メタデータ・データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成するモジュールと、
多重段階登録コミットメントの内もう一つの段階において該データベースに該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を登録するモジュールと、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が該データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成するモジュールと、
多重段階登録コミットメントの内更にもう一つの段階において該ソースの有効性を確認するモジュールと、
該有効性の確認が失敗した場合にエラーを一つ生成するモジュールと、
該多重段階登録コミットメントの何れかの段階でエラーが生成された場合、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録に失敗するモジュールと、
から成る、該プロセッサによって読み取り可能な媒体上に保存されたプログラム。
【請求項３８】
プロセッサと、

該プロセッサに通信するよう接続されたメモリと、
該メモリに保存されたプログラムで、
ソースのための固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ得るモジュールと、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を持つ解決のためのソースの場所アドレスを得るモジュールと、
該場所アドレスへアクセス可能であることの有効性を確かめるモジュールと、
を含む、該プログラムと、
から成る、場所アドレスの有効性を確認するための装置。
【請求項３９】
プロセッサと、
該プロセッサに通信するよう接続されたメモリと、
該メモリに保存されたプログラムで、
タギング・コードを決定するモジュールで、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立する、該タギング・コードを決定するモジュールと、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けするモジュールで、該ソースへと一つの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子によって解決される、該タグ付けするモジュールと、
を含む、該プログラムと、
から成る、ソースをタグ付けするための装置。
【請求項４０】
プロセッサと、
該プロセッサに通信するよう接続されたメモリと、
該メモリに保存されたプログラムで、
タギング・コードを決定するモジュールで、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立する、該タギング・コードを決定するモジュールと、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けするモジュールと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成するモジュールと、
該ソースのための場所のアドレスを一つ受信するモジュールと、
該ソースの場所と関連した該アドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行するモジュールで、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有である、該登録を実行するモジュールと、
を含む、該プログラムと、
から成る、登録を実行する装置。
【請求項４１】
プロセッサと、
該プロセッサに通信するよう接続されたメモリと、
該メモリに保存されたプログラムで、
タギング・コードを決定するモジュールで、該タギング・コードが一旦認識された際は、ソースの有効性を確立する、該タギング・コードを決定するモジュールと、
該タギング・コードでソースを一つタグ付けするモジュールと、
該ソースのための記憶機能内にスペースを割り当てるモジュールと、
通信ネットワーク上で該割り当てられたスペースの場所をアドレス可能でアクセス可能にするモジュールと、
該ソースを該割り当てられたスペースへ保存するモジュールと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成するモジュールと、
該ソースが保存されている該場所と関連した一つのアドレスを持つ該固有で永続的なユ

ニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行するモジュールで、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が該データベースにて固有である、該登録を実行するモジュールと、
を含む、該プログラムと、
から成る、登録を実行する装置。
【請求項４２】
プロセッサと、
該プロセッサに通信するよう接続されたメモリと、
該メモリに保存されたプログラムで、
ソースのための記憶機能にてスペースを割り当てるモジュールと、
通信ネットワーク上で該割り当てられたスペースの一つの場所へアドレス可能でアクセス可能にするモジュールと、
該ソースを該割り当てられたスペースへ保存するモジュールと、
該ソースと関連する固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を一つ生成するモジュールと、
該ソースが保存されている該場所と関連した一つのアドレスを持つ該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の、関連したソースの固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と関連したソースの場所を解決するための一つのデータベースへの登録を実行するモジュールで、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が、該データベースにて固有である、該登録を実行するモジュールと、
該ユニバーサル・ネーム識別子のためのメタデータを受信するモジュール、該メタデータが該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子について説明的なデータを提供する、該受信するモジュールと、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子と該メタデータがお互いにより識別可能になるように、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を該メタデータに関連付けるモジュールと、
多重段階登録コミットメントの内一つの段階において、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録を実行する前に、メタデータをメタデータ・データベースに登録するモジュールと、
該メタデータが該メタデータ・データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成するモジュールと、
多重段階登録コミットメントの内もう一つの段階において該データベースに該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子を登録するモジュールと、
該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子が該データベースへの登録に失敗した場合にエラーを一つ生成するモジュールと、
多重段階登録コミットメントの内更にもう一つの段階において該ソースの有効性を確認するモジュールと、
該有効性の確認が失敗した場合にエラーを一つ生成するモジュールと、
該多重段階登録コミットメントの何れかの段階でエラーが生成された場合、該固有で永続的なユニバーサル・ネーム識別子の登録に失敗するモジュールと、
を含む、該プログラムと、
から成る、ソースへアクセスする装置。